



平成 22 年 3 月 18 日

各 位

上場会社名 東北ミサワホーム株式会社
 代表者名 代表取締役社長 佐藤 春夫
 コード番号 1907 東証 第一部
 決算期 3 月
 問い合わせ先 取締役常務執行役員 福田 好史
 TEL022-706-0330 (URL<http://www.tohoku.misawa.co.jp/>)
 当社の親会社 ミサワホーム株式会社
 代表者名 代表取締役 竹中 宣雄
 コード番号 1722 東証・大証・名証第一部

平成 22 年 3 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 21 年 5 月 15 日の決算発表時及び平成 22 年 2 月 5 日の第 3 四半期決算発表時に公表しました平成 22 年 3 月期通期(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)の業績予想を、下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

(1). 平成 22 年 3 月期通期(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)の業績予想の修正

① 連結

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	38,000	260	30	10
今回予想(B)	32,000	△930	△1,150	△1,400
増減額(B-A)	△6,000	△1,190	△1,180	△1,410
増減率(%)	△15.8%	—	—	—
(ご参考)前年実績	35,110	△442	△689	△2,339

② 個別

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	30,000	170	10	0
今回予想(B)	25,900	△1,100	△1,230	△1,480
増減額(B-A)	△4,100	△1,270	△1,240	△1,480
増減率(%)	△13.7%	—	—	—
(ご参考)前年実績	29,739	△446	△769	△2,378

(2). 平成 22 年 3 月期通期業績予想の修正理由

1. 連結業績予想の修正理由

通期の見通しにつきましては、長引く景気低迷により全国の住宅需要は引き続き低水準で推移するものと考えられます。

当社の販売地域である東北地方におきましても、平成 21 年 4 月から平成 22 年 1 月の住宅着工戸数が前年比 23.8%減の 33 千戸となり、住宅販売の市況は非常に厳しい状況にあります。その住宅販売の減少を補うべく、前連結会計年度より実施している不採算営業拠点の撤退、減損処理も含めた大幅な固定費削減、管理部門の本部集中化などコスト削減の実施、従来子会社が担当していた低価格商品の拡販のために本社内に専任部署の立ち上げ、さらに資産活用事業やリフォーム事業に人員をシフトするなど販売力強化策を行ってまいりました。しかし、当社の主力事業である戸建事業の販売減少の影響は大きく、上記のとおり通期業績を、売上高は 320 億円（60 億円減少）、営業損失は 9 億 30 百万円（11 億 90 百万円損失増加）、経常損失は 11 億 50 百万円（11 億 80 百万円損失増加）、当期純損失は 14 億円（14 億 10 百万円損失増加）に修正いたします。

2. 個別業績予想の修正理由

個別業績につきましては、連結業績予想とほぼ同様の理由によるものです。

(注) 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上